

みんなで
考えよう!!

彦根城

これからの

「見えるものと見えないもの」

2026

12.5(土)

13:00 ~ 16:20

(開場 12 時 30 分)

会場

プロシードアリーナHIKONE 多目的ホール
(彦根市小泉町 640 番地 南彦根駅から徒歩 5 分)

参加料
無料

事前
申込制

定員
200名

申込期間 12月3日(木)まで

問合せ

びわ湖放送総合メディア企画部

TEL:077-524-0153(平日 9:00~17:30)

E-mail: hikone-castle@bbc-tv.co.jp

会場へは公共交通機関でお越しください



申込みフォーム

プログラム

13:00

基調講演：世界遺産と彦根城 - 世界と比べ、地域で読み解き、未来へ伝える -
古谷大輔 氏 (大阪大学大学院人文学研究科 教授)

14:00

報告：「飛鳥・藤原の宮都」世界遺産登録の意義 - 考古学的遺跡の保存と未来への継承 -
小池香津江 氏 (明日香村教育委員会事務局 参事兼文化財課長事務取扱)

15:00

トークセッション：世界遺産の価値、「見えるものと見えないもの」を考える
パネリスト

古谷大輔 氏 (大阪大学大学院人文学研究科 教授)

小池香津江 氏 (明日香村教育委員会事務局 参事兼文化財課長事務取扱)

忠田季空 氏 (合同会社 On Your Mark 代表)

木戸雅寿 (滋賀県文化財保護課 参事員)

三尾次郎 (彦根市彦根城世界遺産登録推進室 室長補佐)

コーディネーター

上田洋平 氏 (滋賀県立大学地域共生センター 特任講師)

16:20

終了



古谷大輔 氏



上田洋平 氏

セミナーの趣旨

令和8年9月3日、彦根城は世界遺産の暫定リスト掲載から34年の時を経て、世界遺産の国内推薦候補に選定されました。この機会に、「彦根城の価値を、地域として、どのような視点で、どう見て感じていくのかをみんなで考える」ことを目的に本セミナーを開催します。

今年7月に世界遺産に登録された「飛鳥・藤原の宮都」の事例を踏まえ、彦根城の世界遺産の価値として重要な、「見えるもの（構造物）」と見えないもの（地下遺構）」をどう考えるのか、イコモスの最新議論である「資産の保全と活用」について、皆さんと一緒に考えます。

講師のプロフィール



大阪大学大学院人文学研究科 教授

古谷 大輔（ふるや だいすけ）

1971年、茨城県生まれ。専門はスウェーデン語圏を例とした近世ヨーロッパにおける国家形成の歴史。東京大学文学部卒業、同大学院人文社会系研究科修了。大阪外国語大学准教授、大阪大学大学院言語文化研究科准教授などを経て、2022年から同大学院人文学研究科教授。彦根城世界遺産登録推進学術会議委員。共編著に『礫岩のようなヨーロッパ』（山川出版社、2016年）など。



滋賀県立大学地域共生センター 特任講師

上田 洋平（うえだ ようへい）

滋賀県立大学大学院人間文化科学研究科地域文化学専攻博士課程単位取得退学。専門は地域文化学、地域学。風土に根ざした暮らしと文化に関する研究に取り組む一方、地域づくり人材の育成を目的とする「共育プログラム」の開発にも従事。「まちづくりのホームドクター」として地域に関わるあらゆる分野の相談に乗る。滋賀移住・交流促進協議会会長他多数歴任。著書に『場づくりから始める地域づくり（共著）』他。

明日香村教育委員会事務局 参事兼文化財課長事務取扱

小池 香津江（こいけ かづえ）

1970年、長野県生まれ。奈良大学文学部文化財学科卒業。専門は日本考古学。奈良県立橿原考古学研究所に入所し、附属博物館学芸員、奈良県庁文化財保存課、文化資源活用課（現・文化財課）などを経て、2020年から明日香村教育委員会に出向、現職。県庁時代から文化財の活用や世界遺産を担当し、「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録に際しては、遺産の保存管理、推薦書の作成などに携わった。

合同会社 On Your Mark 代表

忠田 季空（ちゅうた りく）

彦根まちづくりカフェ「On Your Mark」代表。行政コンサル経験を活かし学生や団体・企業とともに湖東エリア活性化を行っている。彦根城の世界遺産登録に関して、地域住民の為に観光まちづくりを重視し、市民・学生協働のもと、観光パンフレット作成やワークショップ・イベント実施などを通じて、彦根の観光課題である渋滞や周遊不足と向き合い、登録への理解と機運醸成を行っている。

滋賀県文化財保護課 参事員

木戸 雅寿（きど まさゆき）

1958年生まれ。奈良大学文学部史学科考古学専攻卒業。1982年から、滋賀県教育委員会で埋蔵文化財行政を担当。1989年から2001年まで安土城郭調査研究所で特別史跡安土城跡の調査整備に携わる。2018年からは滋賀県文化財保護課参事員として「幻の安土城」復元プロジェクトと彦根城の世界遺産登録事業を担当。元織豊城郭研究会代表、城郭史を専門とする。

彦根市彦根城世界遺産登録推進室 室長補佐

三尾 次郎（みお じろう）

舞鶴市生まれ。近江八幡市で八幡山城の調査を担当し、2008年より彦根市に入庁、文化財課に所属し名勝玄宮園の保存修理等に携わる。2021年より世界遺産登録を担当。専門は日本庭園。

主催：彦根城世界遺産登録推進協議会（滋賀県・彦根市）
共催：滋賀県、滋賀県教育委員会、彦根市、彦根市教育委員会
後援：彦根商工会議所、世界遺産でつながるまちづくりコンソーシアム